

まちトーク2018 「公共空間での楽しみ方・遊び方を考えよう」

－ “イベント当日の様子” と “その後の建設コンサルタンツ協会の活動” についてご紹介します！ －

- 我々「建設コンサルタンツ協会 地域計画委員会」では、広島市を中心とした**公共空間の利活用促進**に向け、2017年より事例調査、視察などの活動を行っています。
- 2018年には、学生や民間事業者など、様々な立場、世代の方にご参加いただき、これからの公共空間の活用について議論する“市民参加型”のフォーラム「まちトーク2018」を開催しました。
- 当日は「まちなかでこんなことをやりたい」「こんなことができたら楽しそう」など、自由に柔軟な発想で、活発な意見交換が行われました。



開催日時：2018年12月9日(日) 14:00～17:00
場 所：CLIP HIROSHIMA 1F イベントスペース
参加者数：72名

第1部 話題提供「公共空間の利活用って何だろう？」

登壇：松田智仁氏（広島市江波山気象館 館長）



公共空間利活用の効果や歴史、各地の事例について紹介いただきました。

第2部 ワールドカフェ

ファシリテーター：平尾順平氏（NPO 法人ひろしまジン大学 代表理事）



道路・河川・公園・商店街をどのように活用したいか、メンバーをシャッフルしながらディスカッションを行い、意見を「えんたくん」(直径1メートル程の丸い段ボール)に書き込みました。

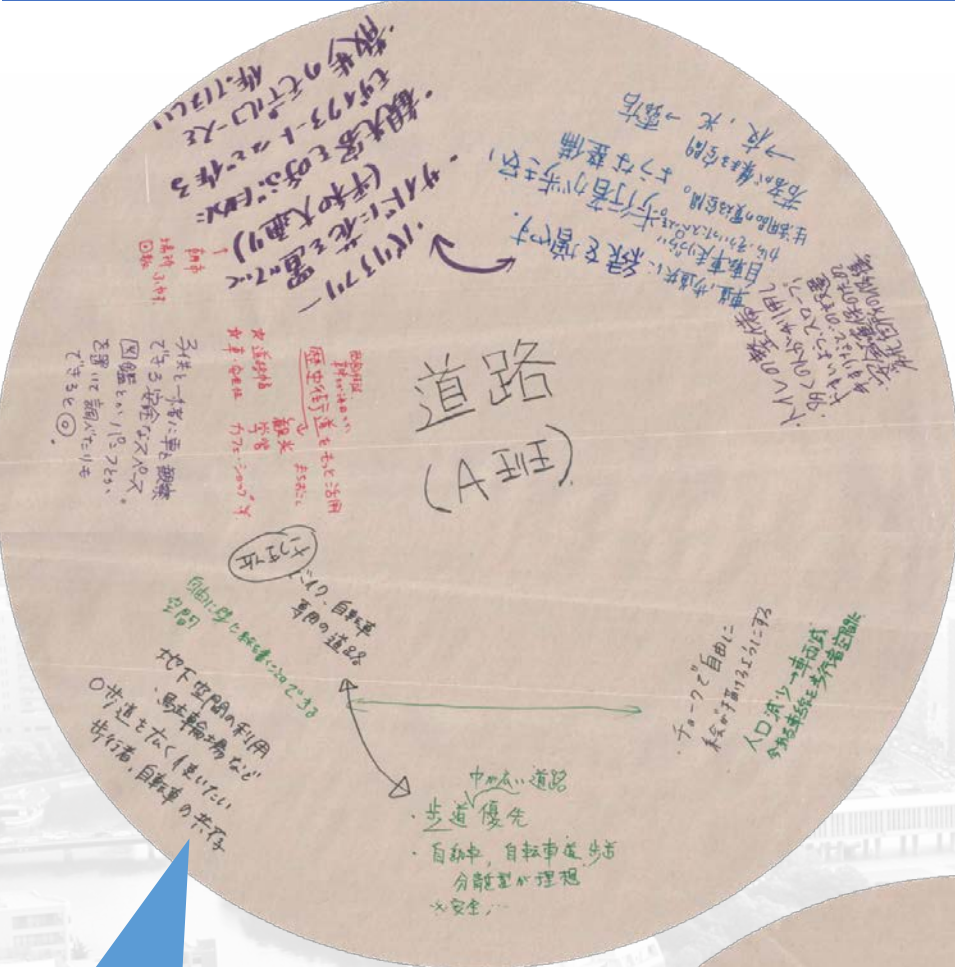
まちトーク2018 「公共空間での楽しみ方・遊び方を考えよう」

—当日にみなさんと作成した「えんたくん」を紹介します！—

ワールドカフェ意見 (A～D班)

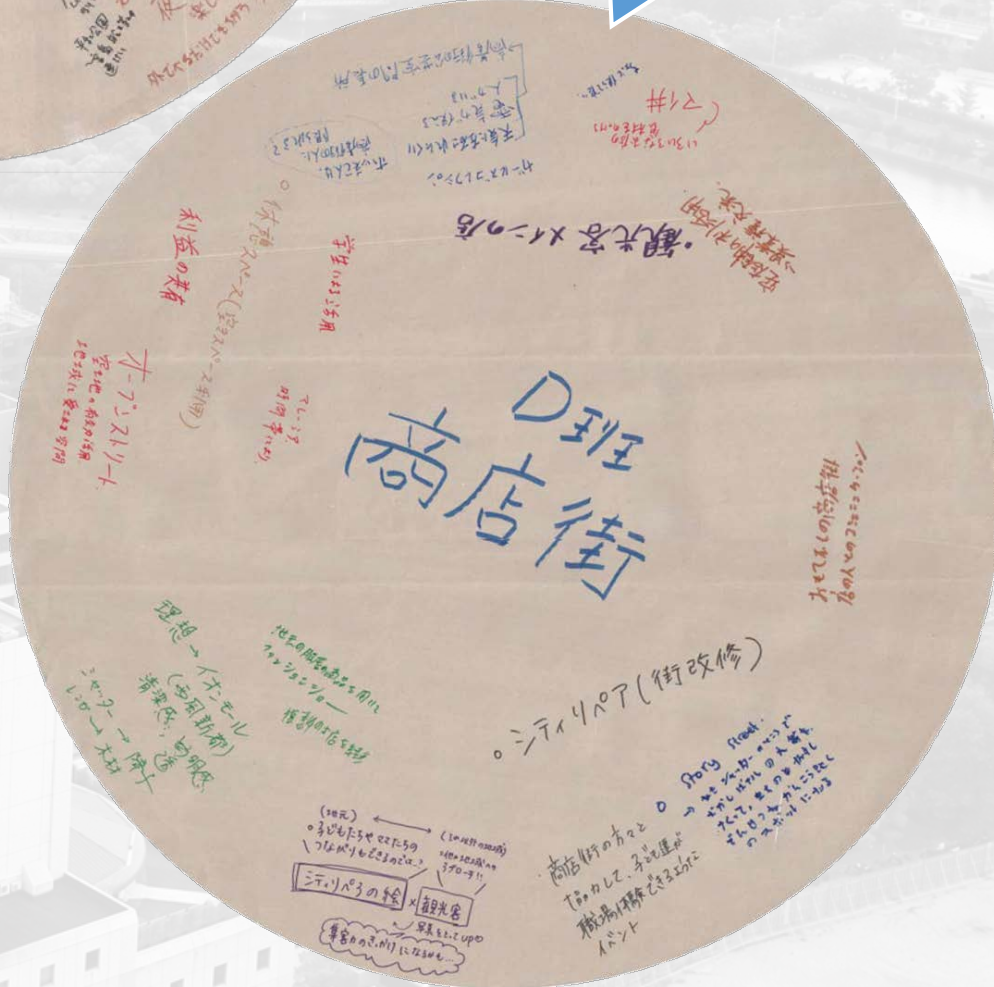
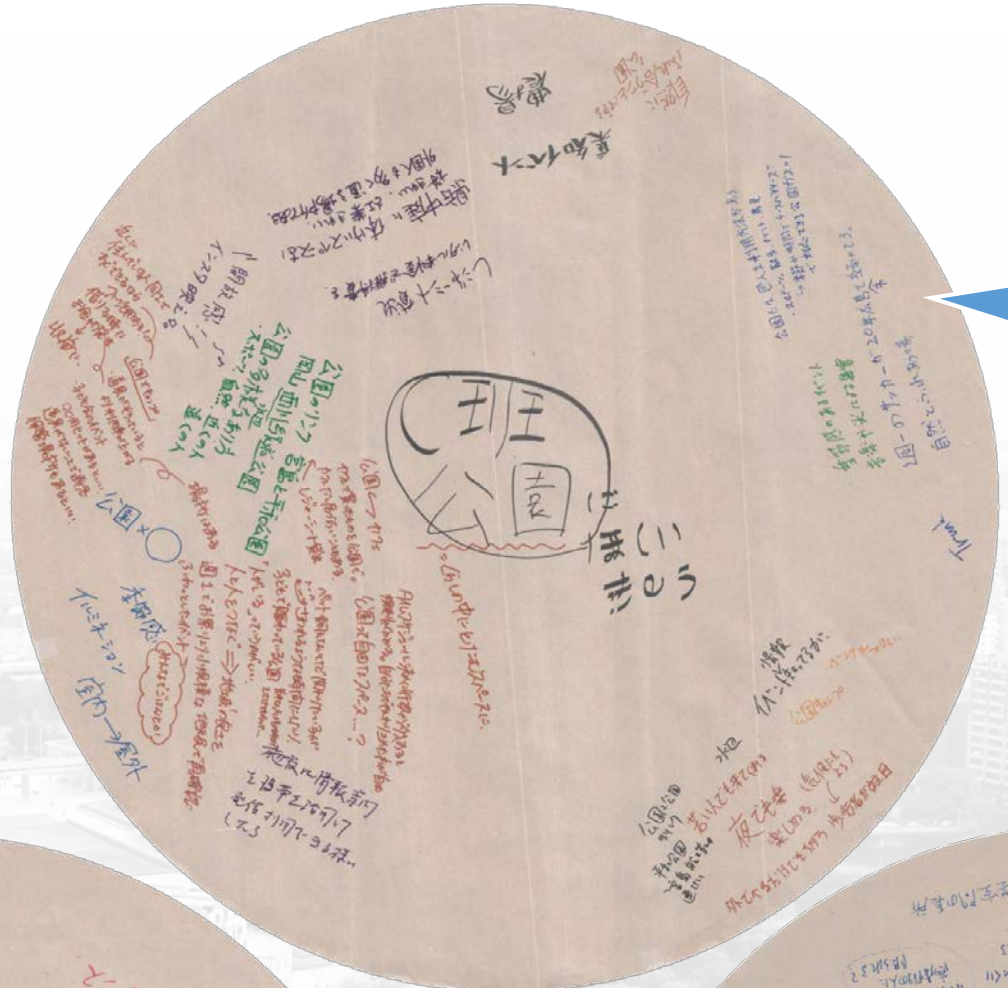
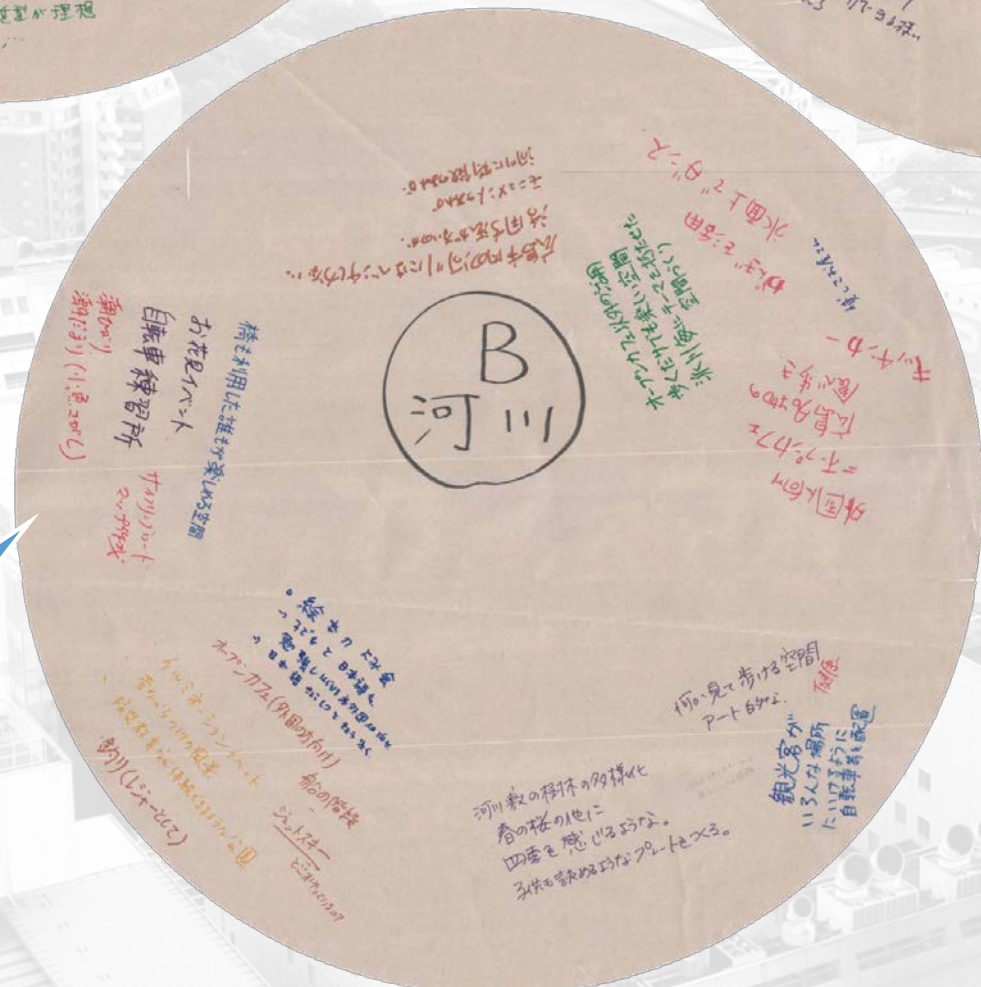
C班担当者コメント：
公園利活用についての様々なアイデアを得ることができました!できるだけ多く実現できればと思います。

D班担当者コメント：
商店街に対する思い入れを熱く語って頂いたとともに、これからの商店街のあり方について、オリジナリティあふれる意見がたくさん出ました。



A班担当者コメント：
普段は通るだけの道路について、快適な空間を創出するにはどうしたら良いか、自由な発想の意見が沢山ありました。

B班担当者コメント：
水面や水辺を活用した様々なアイデアが飛び交いました。



まちトーク2018 「公共空間での楽しみ方・遊び方を考えよう」

－ 当日にみなさんと作成した「えんたくん」を紹介します！ －

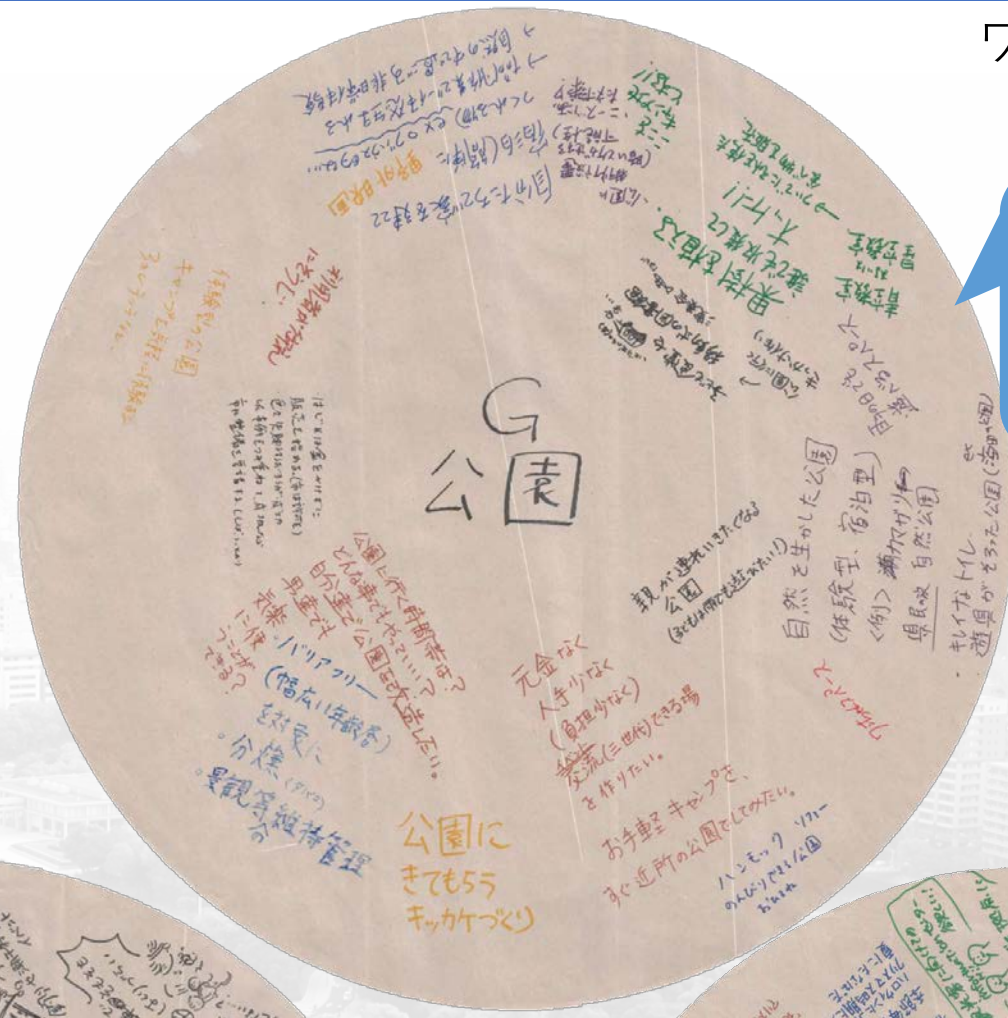
ワールドカフェ意見 (E～H班)

G班担当者コメント：
性別・年代の違う人達と自由な発想で議論したので、普段の仕事だけでは思いつかないような面白い意見もたくさん出たので、一つでも実現できればと思います。

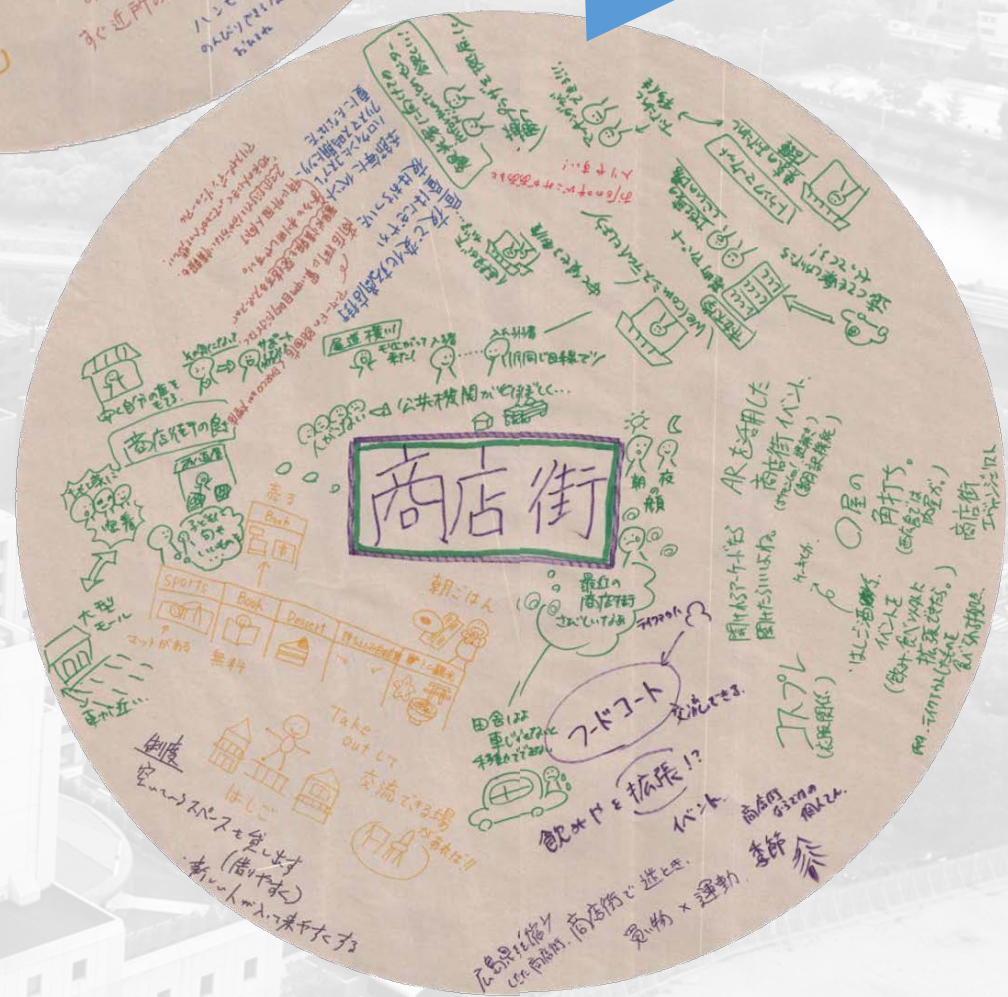
H班担当者コメント：
参加された皆さまから様々なアイデアが出ました。公共空間に興味を持ち意見を出して頂くことが、より良い公共空間に繋がっていけばと思います。



E班担当者コメント：
道路を柔軟に活用した面白いアイデアが飛び交い、白熱した議論になりました。



F班担当者コメント：
自然を活かした空間づくりについて、柔軟な発想が沢山あり、議論もどんどんひろがりました。



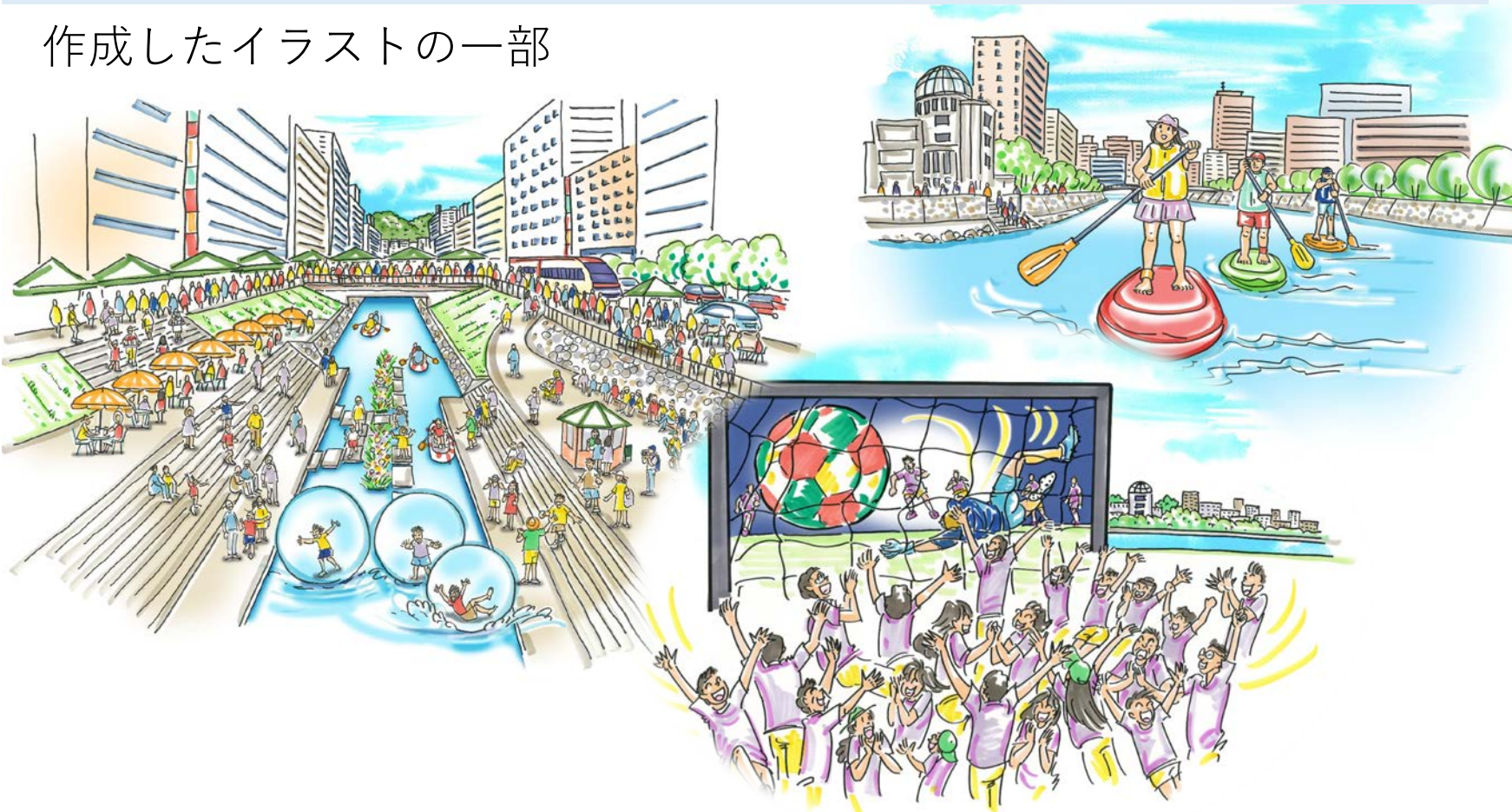
公共空間を活用した市民アイデアの実現に向けたイラスト作成

－ 「まちトーク2018」 でいただいた、素敵なアイデアの活用方法を検討しました！ －

- 2019年度の委員会活動においては、「まちトーク2018」で議論した、多様な立場の参加者の目線による公共空間の利活用に向けた貴重なアイデアについて、今後の展開方法を考えました。
- 展開方法としては次のような意見がありました。
 - ・ アイデアを実現できる場所を広島の地図に表現してはどうか
 - ・ アイデア集として取りまとめて、これを契機に具体的なまちづくり活動を考える「まちづくりコンテスト」の開催に向けた検討を進めてはどうか
- 多様な展開方法が考えられるなかで、まずは、いただいたアイデアが実現されたら、まちがどのように変わるのかをイメージするため、「まちの将来像」を視覚化（イラスト化）することとしました。
- 作成するイラストは、「まちトーク2018」のテーマでもあった「公園・河川」「道路・商店街」の分野ごとに、現在の法規制などにとらわれず、「みなさんが自由にまちで楽しんでいる」様子を表現しました。



作成したイラストの一部



イラストを組み合わせたポスターの作成

－ 「公園・河川」 「道路・商店街」 の分野毎にイラストを組み合わせてポスターを作成しました！ －

■ポスターは、イラストの組み合わせやキャッチコピーを利用シーンに合わせて変更することで、建設コンサルタンツ協会のPR活動での利用など、委員会活動のさまざまな場面での展開を考えています。

■また、今後は、アイデアの追加・発展等を行い、公共空間の利活用方策をさらにブラッシュアップしていきます。

